

安全で安心して暮らせる社会を目指して

一致団結して暴力追放

10月15日、田川文化センターで「暴力団追放！地域決起会議（筑豊地区）」と「第3回田川地区暴力団等追放総決起大会」が同時開催され、筑豊地区の暴追・防犯リーダーや事業者、警察・自治体関係者など約800人が参加しました。

田川警察署刑事管理官の本田哲也警視から、県内の暴力団情勢と暴力団対策法の改正について説明があった後、福岡県警察本部少年課飯塚少年サポートセンター少年育成指導官の安永智美さんの講演が行われました。安永さんは「問題を起こす子どもや困った子どもは、問題を抱えている子ども、困っている子どもです。たくさんの力を合わせて、子どもたちを守っていきましょう」と訴えました。



▲参加者全員で暴力団追放のシュプレヒコールを行いました

ふるさと田川をきれいに

東鷹高校生が清掃活動を実施

10月16日、東鷹高等学校2年生約220人が、総合体育館や田川伊田駅、石炭記念公園、田川警察署、市役所、東鷹高等学校の周辺で清掃活動を行いました。

これは、地域の清掃活動を通して公共心や郷土愛を養い、地域に信頼される学校づくりを目指そうと、毎年実施されているもの。生徒たちは、道端に捨てられたごみやたばこの吸殻を拾うなど、約1時間の清掃活動に汗を流しました。

石炭記念公園で清掃活動を行った横田佑衣奈さんは「ごみがたくさんあったけど、拾うときれいになって気持ちいい」、堀越泰地さんは「生まれ育った田川をきれいにできてうれしい」と話しました。



▲それぞれクラスごとに分かれてごみを拾いました

実りの秋 もち米を収穫

弓削田小学校4・5年生が稲刈り体験

10月18日、弓削田小学校の4・5年生約150人が、学校近くの田んぼ「ゆげたっ子農園」で稲刈りを体験しました。

この取り組みは、総合学習の一環として行われているもの。6月中旬に、子どもたちの手により植えられたもち米の苗は、約4か月の期間を経て立派に成長。4年生は、5年生のお兄さんやお姉さんに手ほどきを受けながら、たわわに実った稲を鎌で刈り取り、脱穀作業を手伝いました。

5年生の田村花鈴さんは「6月の田植えも今日の稲刈りも大変だったけど、楽しかったです」と笑顔で話しました。

なお、12月には同小で、この日収穫したもち米を使ってもちつきを行う予定です。



▲子どもたちの歓声が空高く響き渡りました